

まんのう町



まんのう町は、香川県南西部に位置する町です。西の山間部には町名の由来にもなっている日本一の灌漑用ため池「満濃池」をはじめ、約900ものため池が点在しています。まんのう町の消防団組織は15分団で組織化され、地域の安全と豊かな自然を守るため活動しています。



まんのう町TOPICS

- ★平成27年4月から、消防団員の確保策の1つとして、機能別団員の入団を推進しています。
- ★団員の年齢層は10代～60歳以上のベテランまで幅広く、和気あいあいと活動しています。
- ★各地域の学校の避難訓練や地域のイベントにも積極的に参加しています。

団員 interview



【第1分団】
大西 創太さん



■消防団としてどのような活動をしていますか？

日々の訓練はもちろん、現場活動や啓発活動など、幅広く行っています。自分が経験した活動のなかで印象的だった活動の1つは、遭難者の捜索活動です。警察や消防署と連携し、山間部で発生した遭難者を捜索しました。地元の地理や地形を熟知している先輩たちの力で、無事に遭難者を発見できたことが印象に残っています。地域の消防団ならではの強みを活かした活動だったと感じました。

■消防団活動の魅力は何ですか？

普段の生活では得られない体験ができることが魅力です。活動を通じて、消火技術や効果的な土のうの積み方、ロープワーク、AEDの使い方など、災害時の対応力や日常でも役立つスキルを学べます。最近は水害や地震が増えており、消防団員として技術を高めることは、家族や周囲の人々を守る力になると感じています。

■消防団への入団を考えている人にアドバイスをください！

災害時に家族や周りの人の命を守るための技術を学べる環境はとても貴重です。入団したからといって、全ての活動に参加しなければいけないわけではありません。家族との時間や仕事を大切にしながら、無理のない範囲で消防団活動を行えるので、この貴重な経験を、皆さんにもぜひ体験してもらいたいです。

消防団の活動状況



訓練

当町は山林に囲まれていることから、林野火災などを想定した中継送水訓練を中心に毎年訓練を実施しています。春と秋には、防火宣伝活動を行っています。



水防活動

梅雨時期や台風発生時は、浸水防止のための土のう積みやパトロールを行っています。



年末警戒

年末の3日間、まんのう町消防団員が協力して分団管轄区域を巡回します。